



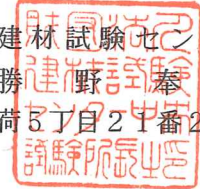
受付第06A0034号

受付日：平成18年4月3日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成18年5月15日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号

試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑702番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：はしらどめリトルコーナー 使用条件：接合金物は2個1組で使用し、柱の直交する2側面に設置する。 用途：柱脚の仕口に使用する金物（隅柱型） 寸法：45×26.3×43mm，厚さ2.3mm（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 木ねじ：TB-66D，接合金物1個あたり柱側3本，土台側3本使用 長さ；65mm，ねじ部の長さ；54mm，ねじ部の外径；6mm 谷の径；3.7mm，ねじ山のピッチ；3mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH 22K (JIS G 3507-2)，表面処理；ダクロタイズド処理 六角ボルトM12：長さ；165mm，ねじ部の長さ；M12×53mm，胴部径；10.6mm 材質；SWRM 10 (JIS G 3505) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 六角ナットM12：材質；SWRM 10，表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 角座金：40×40mm，厚さ4.5mm，材質；SPHC (JIS G 3131) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 3. 使用軸組 柱及び土台：樹種；すぎ，寸法；105×105mm 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力(Pot)：11.5kN 耐力算定基礎資料：表-2 ただし，土台固定用のアンカーボルト(M12) 荷重-変位曲線：図-5～図-7 は柱心から160mmの位置2箇所を設置する。 破壊状況：写真-1～写真-6
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（へ）に定める 10kN用引き寄せ金物（必要耐力10.0kN）に該当する。
試験期間	平成18年4月3日～4日
担当者	構造グループ 試験監督者 川上修 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 室星啓和
試験場所	中央試験所